

災害に備える

智頭町防災特集 2023



▲平成30年7月豪雨の被害により崩壊した護岸と道路

梅雨に入り、風水害の発生しやすい季節となりました。近年では平成30年7月豪雨が記憶に新しく、今年については、梅雨入り前の4月と5月に大雨による災害が既に発生しており、日頃からの台風や大雨による風水害に注意が必要です。

災害が発生してからの対応では手遅れになるため、事前の備えをしましょう。本特集では、万が一の際、命や暮らしを守るために重要な普段からの備えについて紹介いたします。

家庭で準備する災害備蓄品

災害時には電気やガスが止まってしまうケースも多いため、食料や水、そして日用品をはじめとした備蓄品を確保しておかなければなりません。備蓄品というと、水や乾パンを想像しがちですが、災害は何日続くか分からず、日常生活を維持するための多様な「備え」が必要です。今回は、最低限あると便利な備蓄品 10 品を以下の通りご紹介いたします。

【備蓄品チェックリスト（簡易版）】



最寄りの避難所の確認

あわてずに避難するためにも、ご家庭の防災ハザードマップを確認し、避難場所、避難経路を事前に把握しておきましょう。

家族の安否確認方法

災害が発生した場合に互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所を話し合っておきましょう。